

ジャンボ枝アメ鮮やかに

秋田職能短大

学生ら100人飾り付け

大館市の秋田職業能力開発短大で19日、大館アメッコ市（2月12、13日・おまち八チ公通り）会場を彩るジャンボ枝アメの飾り付け作業が行われた。協団体の中で最多となる約100人の学生や職員が力を合わせ、20本を完成させた。

枝アメはミズキの木に、黄やピンク色などのアメ玉、縁起札をひもで結びつけた飾り。今月10日に始まった飾り付けは市内の市民団体や学校などの協力を得て行われ、終盤を迎えた。

会場や公共施設にジャンボ枝アメ56本を設置する予定。職能短大は20本を受け持つ

た。中には市外出身者も目立ち、枝アメを初めて見た学生も。大仙市出身の高野春佳さん（19）は「出来上がっていく様子がきれい」と目を輝かせた。

地元の武田歩夢さん（20）
大館市川口は「アメの個数が多くて飾り付けがちょっと大変だった。自分で作ると新鮮ですね」と伝統行事を再認識した。

市観光協会によると、全国で新型コロナウイルス感染が再拡大しているものの、現時点でアメッコ市を開催する方針で準備を進めている。ステーションイベントなど一部は中止を決めている。

色とりどりのアメを枝に結び付ける学生たち（職能短大）

